

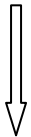
「工場生産性改善法」セミナー

■狙い 「原価」に過敏な企業経営者は多いが、「原価の仕組みや方程式」に関心を持たない経営者も多い。この講座では「原価の方程式」を知ることにより、工場の生産性をコントロールできる手法を修得し「原価」を低減させることを目的とする。

■進め方 本講座は6ステップ(4回)に分かれています。手法を修得するためには、座学だけでは不十分です。座学と演習の組み合わせにより、実際に**貴社の工場の改善**を図りながら講座を進行させて参ります。※参加の際は経営者および製造部門管理者の両名での出席をお勧めします。

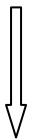
■講座プログラム

STEP-1 生産性のしくみと改善仕分けの原則をつかむ



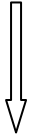
- ①工場の生産性の決定要素は何か？改善により付加価値が変化するしくみをつかむ
- ②工場が改善し、管理できる原価は何かをつかむ
- ③生産性改善のタイミング仕分けの原則と使い方をつかむ

STEP-2 生産速度の決め方をつかむ



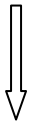
- <いたずらに速い速度は、配置人員を増やす等のロスを招く>
- ①生産計画の立て方とその指図の粗さ(対象、期間、サイクル)をつかむ
 - ②生産投入能力の決め方と実態をつかむ

STEP-3 人-機械能力のつかみ方と決め方をつかむ



- ①その停止、段取り作業が能力を決める、能力図を作り見える化する
- ②作る計画と止める(段取り)計画が必要である
- ③停止、段取りなどに割り当てる人-作業が機械能力を決める

STEP-4 生産必要人員を決める、やり直す



- <その配置人員数は、生産速度と割り当て作業量により決められる>
- ①生産速度(STEP-2で決めた)のはたらきをつかむ
 - ②生産作業量の仕分けと決め方をつかむ・・・仕分け区分の実践

STEP-5 生産準備の働きを決める



- ・生産に先行して準備する作業を仕分けし、労働費負担の減らし方をつかむ

STEP-6 工場生産性診断結果と評価のまとめ

- ・自社の生産性決定要素を学び、その結果を診断、今後の工場生産性の改善方法をつかむ

■講師紹介

- ケーイー・ソリューションズ(株)取締役 小野嘉雄
- 日本国内の一部上場製造業の企業、及び海外(韓国、タイ)の大手企業のコンサルティングを歴任。
※略歴詳細は、別紙の講師略歴書を参照ください。
※ケーイー・ソリューションズ(株)HP:<http://www.kesol.co.jp>